薩摩隕石（さつまいんせき）

【所　　在　　地】鹿児島市城山町１番１号

【種　　別】県指定天然記念物

【指 定 年 月 日】平成２７年４月１７日

薩摩隕石

薩摩隕石は，明治19（1886）年10月26日午後３時ごろ，県北部の伊佐地方に落下した一群の隕石で，そのうちの一つが鹿児島県立博物館に所蔵されている。

薩摩隕石の組成は石質隕石のコンドライトで，カンラン石及びシソ輝石を多く含むＬタイプと呼ばれるものである。鹿児島県立博物館所蔵の標本の表面は濃いこげ茶色で溶融皮膜が顕著であり，指で押しつけたようなくぼみがある。内部は明灰色で球粒が点在している。なお，標本の一部は研究用に切断されている。

薩摩隕石の多くは国外に流出し，国際名称は「九州隕石」と呼ばれる。本標本は，平成13（2001）年に国外から買い戻したものであり，鹿児島県内唯一の薩摩隕石である。